

平成 21 年度秋期 IT パスポート試験 分析報告

株式会社ウィネット
情報処理教育研究室

新試験制度での 2 回目の IT パスポート試験が 10 月 18 日 (日) に実施されました。

この度弊社では、模擬試験ご採用校様の一部並びに弊社教材外部ライティングスタッフの皆様から、本試験出題内容に関するご意見を聴取させていただき、情報処理教育研究室で整理及び分析を行いました。今後のご参考として、今回の本試験分析をご報告させていただきます。

1. 分野別出題数

	分野	平成 21 年度秋期			平成 21 年度春期		
		小問	中間	合計	小問	中間	合計
1	ストラテジ系	28	7	35	31	4	35
2	マネジメント系	25		25	22	3	25
3	テクノロジー系	35	5	40	35	5	40
	合計	88	12	100	88	12	100

- 小問は問 1～問 88 の 88 問、中間 (中間 A～C) は問 89～問 100 の 12 問で構成されています。上の表の合計列が分野別の出題数であり、情報処理技術者試験の試験要綱 (平成 20 年 10 月 27 日: IPA) の 14 ページに、100 問出題中、“ストラテジ系” 35%、“マネジメント系” 25%、“テクノロジー系” 40%と明記されています。
- 中間の出題数をみると、前回の試験は分野別に全体の比率にほぼ比例した出題数でしたが、今回の試験はマネジメント系の出題はなく、ストラテジ系の出題が多くなっています。

2. 大分類別出題数

	大分類	平成 21 年度秋期			平成 21 年度春期		
		小問	中間	合計	小問	中間	合計
1	企業と法務	11	4	15	14	4	18
2	経営戦略	10	2	12	10		10
3	システム戦略	7	1	8	7		7
4	開発技術	11		11	9		9
5	プロジェクトマネジメント	7		7	6		6
6	サービスマネジメント	7		7	7	3	10
7	基礎理論	5	1	6	5	3	8
8	コンピュータシステム	10		10	12		12
9	技術要素	20	4	24	18	2	20
	合計	88	12	100	88	12	100

- 2 問以上小問の出題数が増えた大分類は、“技術要素 (+2 問)”、“開発技術 (+2 問)”でした。
- 2 問以上小問の出題数が減った大分類は、“企業と法務 (-3 問)”、“コンピュータシステム (-2 問)”でした。

3. 中分類別出題数

	中分類	平成 21 年度秋期			平成 21 年度春期		
		小問	中間	合計	小問	中間	合計
1	企業活動	7	4	11	8	4	12
2	法務	4		4	6		6
3	経営戦略マネジメント	7	2	9	7		7
4	技術戦略マネジメント	0		0	0		0
5	ビジネスインダストリ	3		3	3		3
6	システム戦略	5	1	6	5		5
7	システム企画	2		2	2		2
8	システム開発技術	10		10	8		8
9	ソフトウェア開発管理技術	1		1	1		1
10	プロジェクトマネジメント	7		7	6		6
11	サービスマネジメント	6		6	5	3	8
12	システム監査	1		1	2		2
13	基礎理論	3		3	4		4
14	アルゴリズムとプログラミング	2	1	3	2	2	4
15	コンピュータ構成要素	3		3	1		1
16	システム構成要素	4		4	4		4
17	ソフトウェア	3		3	5		5
18	ハードウェア	0		0	2		2
19	ヒューマンインタフェース	0		0	1		1
20	マルチメディア	1		1	1		1
21	データベース	3	4	7	3	1	4
22	ネットワーク	5		5	3	2	5
23	セキュリティ	11		11	9		9
	合計	88	12	100	88	12	100

- 2 問以上小問の出題数が増えた中分類は、“セキュリティ (+2 問)”、“システム開発技術 (+2 問)”、“ネットワーク (+2 問)”、“コンピュータ構成要素 (+2 問)”でした。
- 2 問以上小問の出題数が減った中分類は、“法務 (-2 問)”、“ソフトウェア (-2 問)”、“ハードウェア (-2 問)”でした。

4. 中間 A～C (問 89～問 100)

中間 A～C の出題内容と難易度は、次のとおりです。

- 中間 A は、販売管理業務の問題でした。分野構成は、ストラテジ系 3 問、テクノロジー系 1 問です。問 89 は DFD の穴埋め、問 90 は流れ図の穴埋め、問 91 は引当可能数量の計算、問 92 は請求金額の計算を問う問題が出題され、難易度は中程度と考えます。
- 中間 B は、商品の販売データ分析の問題でした。分野構成は、ストラテジ系 4 問です。問 93 と問 95 は表計算の計算式、問 94 はバブルチャート、問 96 は重点商品の品目数を問う問題が出題され、難易度は中程度と考えます。
- 中間 C も中間 A と同じく、販売管理業務の問題でした。分野構成は、テクノロジー系 4 問です。問 97 はバックアップ容量の計算、問 98 は主キー、問 99 はレコード件数の比較、問 100 は正規化を問う問題が出題され、難易度は中程度と考えます。

5. 合格ライン

“100 問の正答率が 60%以上”、かつ、“各分野の正答率がすべて 30%以上”で合格です。前回の試験と比較して、小問はやや難しく、中間はやや易くなりましたので、合格率は同程度と考えます。

6. 今後の指導方法

まずは、シラバスに記載されている重要用語をマスタすることが重要です。また、計算・思考・図表問題対策として、初級システムアドミニストレータ試験や基本情報技術者試験の午前過去問題の中で IT パスポート試験に出題が考えられる問題を演習することが効果的です。さらに、中間の対策として、初級システムアドミニストレータ試験の午後過去問題の中で、データ分析、セキュリティ、ネットワーク、データベース、障害対策、運用管理などを演習することも得点力アップにつながります。